

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日現在)	前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預貯金	2,056	3,507
有価証券	79,908	73,234
有形固定資産	397	325
無形固定資産	3,309	1,912
その他資産	12,767	13,553
繰延税金資産	5,871	5,807
資産の部合計	104,309	98,340
負債の部		
保険契約準備金	82,451	75,851
支払備金	19,172	17,725
責任準備金	63,278	58,125
その他負債	3,904	5,809
未払法人税等	684	565
その他の負債	3,219	5,243
退職給付引当金	620	552
役員退職慰労引当金	33	28
賞与引当金	339	589
特別法上の準備金	39	27
価格変動準備金	39	27
負債の部合計	87,388	82,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,000	20,000
利益剰余金	△ 23,115	△ 24,543
株主資本合計	16,884	15,456
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36	25
評価・換算差額等合計	36	25
純資産の部合計	16,921	15,482
負債及び純資産の部合計	104,309	98,340

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
経常収益	50,947	55,603
保険引受収益	50,417	55,015
(うち正味収入保険料)	50,393	54,993
(うち積立保険料等運用益)	23	22
資産運用収益	511	570
(うち利息及び配当金収入)	517	584
(うち有価証券売却益)	7	3
(うち積立保険料等運用益振替)	△ 23	△ 22
その他経常収益	18	16
経常費用	49,137	53,286
保険引受費用	37,185	40,472
(うち正味支払保険金)	25,399	29,326
(うち損害調査費)	2,981	3,541
(うち諸手数料及び集金費)	969	1,004
(うち支払備金繰入額)	1,551	1,446
(うち責任準備金繰入額)	6,283	5,153
資産運用費用	13	-
(うち有価証券売却損)	12	-
営業費及び一般管理費	11,926	12,780
その他経常費用	13	33
経常利益	1,809	2,316
特別損失	37	47
固定資産処分損	26	35
特別法上の準備金繰入額	10	11
価格変動準備金繰入額	10	11
税引前四半期純利益	1,772	2,269
法人税及び住民税	1,341	911
法人税等調整額	△ 764	△ 70
法人税等合計	576	840
四半期純利益	1,195	1,428

当四半期の損益状況

(単位：百万円)

期 別		前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	比較増減	増減率
科 目					
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		50,133	54,596	4,462	8.9%
(元受正味保険料)		(50,133)	(54,596)	(4,462)	(8.9)
経	保険引受収益	50,417	55,015	4,598	9.1
	(うち正味収入保険料)	(50,393)	(54,993)	(4,599)	(9.1)
	保険引受費用	37,185	40,472	3,287	8.8
	(うち正味支払保険金)	(25,399)	(29,326)	(3,927)	(15.5)
	(うち損害調査費)	(2,981)	(3,541)	(560)	(18.8)
常	(うち諸手数料及び集金費)	(969)	(1,004)	(34)	(3.6)
	資産運用収益	511	570	59	11.7
	(うち利息及び配当金収入)	(517)	(584)	(66)	(12.9)
	(うち有価証券売却益)	(7)	(3)	(△4)	(△60.0)
	資産運用費用	13	-	△13	△100.0
損	(うち有価証券売却損)	(12)	(-)	(△12)	(△100.0)
	営業費及び一般管理費	11,926	12,780	853	7.2
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(11,866)	(12,721)	(855)	(7.2)
	その他経常損益	5	△16	△22	△396.4
	経常利益	1,809	2,316	507	28.0
特	(保険引受利益)	(1,365)	(1,820)	(455)	(33.4)
	特別利益	-	-	-	-
	特別損失	37	47	10	28.2
益	特別損益	△37	△47	△10	-
	税引前四半期純利益	1,772	2,269	496	28.0
法人税及び住民税	1,341	911	△430	△32.1	
法人税等調整額	△764	△70	694	-	
法人税等合計	576	840	263	45.8	
四半期純利益	1,195	1,428	232	19.5	
諸	正味損害率	56.3%	59.8%	/	/
	正味事業費率	25.5%	25.0%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などでありませう。

2. 諸比率は次の算式によつております。

$$\text{正味損害率} = (\text{正味支払保険金} + \text{損害調査費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

$$\text{正味事業費率} = (\text{諸手数料及び集金費} + \text{保険引受に係る営業費及び一般管理費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災	災	215	0.4	18.9	120	0.2	44.3
海上	上	-	-	-	-	-	-
傷害	害	5,187	10.3	4.6	5,339	9.8	2.9
自動車	動車	44,731	89.2	11.4	49,136	90.0	9.8
自動車損害賠償責任		-	-	-	-	-	-
合計	計	50,133	100.0	10.5	54,596	100.0	8.9

正味収入保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災	災	9	0.0	24.7	5	0.0	43.0
海上	上	2	0.0	106.6	2	0.0	-
傷害	害	5,360	10.6	3.9	5,507	10.0	2.7
自動車	動車	44,557	88.4	11.4	48,934	89.0	9.8
自動車損害賠償責任		468	0.9	23.7	543	1.0	16.0
合計	計	50,393	100.0	10.6	54,993	100.0	9.1

正味支払保険金

(単位：百万円)

種目	期別	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		
		金額	増減率	正味損害率	金額	増減率	正味損害率
火災	災	0	3.5	72.0	0	172.4	109.1
海上	上	2	79.7	-	10	371.6	462.9
傷害	害	1,106	10.5	22.8	1,179	6.5	24.1
自動車	動車	23,891	15.3	60.0	27,633	15.7	63.4
自動車損害賠償責任		399	9.9	85.2	502	25.9	92.5
合計	計	25,399	15.0	56.3	29,326	15.5	59.8

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	29,001	27,444
資本金又は基金等	16,884	15,456
価格変動準備金	39	27
危険準備金	7	6
異常危険準備金	12,017	11,918
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	52	36
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
(B) リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	5,738	5,388
一般保険リスク(R ₁)	4,942	4,599
第三分野保険の保険リスク(R ₂)	0	0
予定利率リスク(R ₃)	11	10
資産運用リスク(R ₄)	226	288
経営管理リスク(R ₅)	173	165
巨大災害リスク(R ₆)	615	614
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A) / {(B) × 1/2}] × 100	1,010.8 %	1,018.5 %

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。なお、当第3四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を中間会計期間末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

＜ソルベンシー・マージン比率＞

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険(一般保険リスク)：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
 - (第三分野保険の保険リスク)
 - ②予定利率上の危険(予定利率リスク)：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③資産運用上の危険(資産運用リスク)：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④経営管理上の危険(経営管理リスク)：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - ⑤巨大災害に係る危険(巨大災害リスク)：通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつであります。その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。